

合格体験記

山陽小野田市立山口東京理科大学 工学部応用化学科（公募推薦） Nさん

私は自然探究系列に進み、2年生の夏頃に化学が好きだと気づきました。そして、化学をしっかりと学べる大学に進もうと考えました。私は1年生の頃からボランティア活動に積極的に参加しており、大きなグループをまとめることもしてきました。このような活動が他の人にはない自分の強みであるということをアピールするため、公募制推薦という方法で受験に挑みました。

皆さんの中には、自分が何をしたいのか悩む人も、好きなことに突き進むと決めた人もいます。私はやりたいことが分からず、理由もなく瀬戸北総合に入学し、特に理由もなく自然探究系列を選び勉強をしていました。ところが、些細な疑問が私を化学の世界に導いてくれて、それが好きなものへと昇華して、私の進路になっていきました。

そこで私は、好きなことを見つけるのが大事なのではなく、自分の気持ちに素直になることが大事だということを伝えたいです。

進路について考える度に「自分は何が好きで何がしたいんだろう」と、深く考えても思いつかないことにとっても不安を感じていました。そういう時には、些細なことでも自分が感じる「なぜ？」や「どうして？」に素直になって、その疑問を自分の手で深掘りしてみたいのです。

自分の気持ちだけが頼りです。思ったこと感じたことをありのまま表現して、自分にとって最善の進路実現を目指して欲しいと思います。

愛知工業大学 情報科学部情報科学科コンピュータシステム専攻（指定校推薦） Nさん

指定校推薦での合格は私にとって非常に嬉しい出来事でした。私は高校に入学した頃から情報技術に興味を持ち、その分野での学びを追求したいと考えていました。愛知工業大学の情報科学部情報科学科コンピュータシステム専攻は、先進的な研究設備や充実したカリキュラムがあり、私の目標にぴったりだと感じました。

私は、第1志望校に合格するために、面接の練習だけでなく、英語検定の勉強や普段から定期テストの勉強などを頑張りました。面接では、志望理由について詳しく聞かれました。私は、愛知工業大学の最先端の研究設備に興味を持っており、それが私の学びや研究に大きな影響を与えると述べました。また、将来はシステムエンジニアになりたいという夢を持っており、そのためには愛知工業大学のプログラムが最適だと考えていることを伝えました。面接官は私の熱意や将来のビジョンに共感してくれたようで、その結果合格することができました。

合格の知らせを受けた時はとても嬉しかったです。これからは大学での学びを精一杯活かし、将来の夢に向かって努力していきたいと思います。

愛知学院大学 商学部 商学科(指定校推薦) Tさん

私は高校に入学してから、ビジネスとITの両方の知識を兼ね備えたビジネスマンになりたいと思うようになりました。その夢を叶えるために高校三年間のうちにできることを考え、次の2つのことを始めました。

1つ目が読書です。読書をすることで様々な知識を得ることができます。そして、知識が増えることで論理的に物事を考える力が付きます。なので、私は「1年に5冊以上の本を読む」ことを目標にして、習慣づけるように心がけました。

そして2つ目が英語学習です。英語が話せることで多くの国の人とコミュニケーションをとれるようになり、世界へ進出するチャンスや可能性を大きく広げることができます。なので、私は高校三年間で英検を三級、準二級、二級といった順番で受けることにしました。三級と準二級は問題なく合格することができましたが、二級からは準二級までとはレベルが違い、一度不合格となりました。私は高校に入るまで挫折という経験をあまりしてこず、一つの物事に真剣に取り組むということもしてこなかったもので、余計に気合が入りました。参考書や過去問を何度も解いたり、ネットにある予想問題を解いたり、出来る限りのことをし尽くしました。そして何とか三年生の8月頃に二級に合格することができました。

私は高校での三年間を過ごし、一番大切だと感じたことは「夢」を持つことです。私は中学生の時まで「将来やりたいこと」が何もなく中身の無い生活を送ってきました。しかし、高校に上がり「夢」を持ったことで、自分の進むべき道や、何をすべきかはっきりし、日々の生活がとて豊かになりました。なので、私は後輩の皆さんにも小さな夢でもいいので、やりたいことを見つけてほしいと思っています。もしその夢が叶えられなかったとしても、皆さんのそれまで積み上げてきた努力や頑張りは絶対に無駄にはなりません。私はそう信じています。

皆さんの進路がより良いものとなることを願っています。

名古屋学芸大学 看護学部(総合型選抜) Uさん

私は、様々な状況に対応できる救急看護師になりたいと思っていました。そのために、看護の勉強をするだけでなく、多くの人と関わり、いくつかの言語を習得することが必要だと感じました。自分にあった進学先を見つけるために、大学独自のプログラムやシラバスを複数校比較し、自分の将来やりたいことを一番多く学べる名古屋学芸大学へ進学したいと思いました。私から後輩の皆さんに伝えたい事があります。

1つ目は、自分の経験や将来の夢について、少しでも多く自分の言葉で語れるようにしてください。「経験はものを言う」という言葉があるように、将来の夢や自分の経験を相手に伝えることは、簡単そうに見えてとても難しいです。私は将来の夢のために高校2年生の時に語学留学をしたため、自分の中の大きな経験として志望理由書や面接を通し相手に自分の思いを伝える事ができました。筆記試験だけではなく面接や志望理由書にもちゃんと目を通してくれる大学は多くあるので、私のように、高校生

のうちに自分が堂々と胸を張れる経験を積むことが今後の人生にも大きな影響を与え
ると思います。

2つ目は、周りの人を信じて頼ってみてください。親でも友達でも先生でも誰でも
大丈夫です。どんな些細な事でも1人で抱えようとせず、誰かに話してみたり相談した
りするだけで気持ちが楽になるし、頑張っている人には必ず手を差し伸べてくれま
す。

最後に、どんな事でも最後の最後まで絶対に諦めないでください。自分の努力次第
で良くも悪くも将来が決まります。私が受験期に実際感じたように、辛いと思う事も
辞めたくなる事も多くあると思います。自分の進路を周りから「無謀な挑戦、あなた
には無理」と言われても、「瀬戸北だから」と諦めずに、自分自身と自分を信じてくれ
る人を信じて最後まで突き進んでください。自分の努力は必ず報われます。

皆さんの将来が輝くことを願っています。

公立瀬戸旭看護専門学校 看護学科（指定校推薦） Yさん

私は高校に入学する前から看護師になりたいと思っていました。高校入学後に公立瀬戸
旭看護専門学校の講師の方からのお話を聞いて公立瀬戸旭看護専門学校で学びたいとい
う気持ちが強くなりました。

そこでまず、私は成績を上げられるように苦手な教科を中心に勉強をしました。しかし、
なかなか思うような成績が出せずに焦っていました。それでも諦めずに努力を続けること
で最終的には目標の成績を達成することができ、指定校推薦を取ることができました。

次に、小論文と面接の対策を行いました。小論文練習では多くのテーマに挑戦し、先生に
添削をしてもらいました。反省点を改善しながら練習を重ねることで、自分の思いや考えを
文章に落とし込むことができるようになりました。面接練習では、自信を持って話すことが
大切です。最初は、緊張して言葉が詰まってしまう、自信を持って話すことができないか
もしれませんが、繰り返し練習を行い徐々に自分の言葉でしっかりと伝えることができるよ
うになります。また、模擬面接を行うことで自信をつけることができるようになりました。

最後に私から後輩の皆さんに伝えたいことは、最後まで諦めずに頑張り続ければ、絶対に
努力は報われると思います。そして、自信を持って臨んでほしいです。私自身も、看護学校
への合格には多くの努力が必要であることを知りました。一步ずつ進み続ければ、必ず合格
することができます。

後輩の皆さんが夢を実現できるよう応援しています。

公立瀬戸旭看護専門学校（一般選抜） Tさん

私は看護専門学校を受験した。受験までの道のりは遠く、なかなか勉強へのやる気を行動に移すことは難しかったが、この受験を機に、自分なりに努力をしたら未来は変えられるということを実感した。

私は、夏休み前の三者懇談で出席日数の関係で指定校が取れないと先生から言われた。それを聞いた途端涙が出そうになった。先生がこれからのことや、私に合う他の学校を提案してくれたが、話が入って来ず、正直高校に入ってからの自分を恨んだ。もうちょっと頑張っ て遅刻とかせずに学校に来ていたら…と何度も思った。夏休みに入ってからあまり自分の現実を受け止めきれず勉強に励むことは難しかった。しかし、夏休みが明けてから周りが忙しくなると同時に、少しずつ受験勉強に取り組むようになった。まず、先生に参考書を借りたり、卒業した先輩におすすめの問題集を教えて貰ったりして、自分に合う勉強法を探した。時には、教科担の先生に専門学校の過去問を見てもらい、どんな問題が出やすいか分析してもらったこともあった。私は、自分が苦手な英語を重点的に勉強していた。単語や基礎から見直し、文法や長文の問題演習にも取り組んだ。勉強していると、徐々にわかるようになり楽しくなった。さらに自分に自信を持てるようにもなった。それと同時に、周りの進路が決まっていく中で私も指定校が取れていたらこんなに勉強しなくても良かったのかな…と後悔する時も多々あった。しかし、そのような状況でも諦めずに頑張ったことで今の自分がいるし、これからも自分の努力を忘れずに頑張ろうと思うきっかけとなった。

私は受験期間を通して、諦めずに取り組んだら自分の未来は良い方向に導けるということがわかった。最初は勉強に対して気が乗らなかつたり、落ち込んでしまつたりすることもあると思うけれど、少しずつやるのが大切だと気がついた。そのため、私は専門学校に行つてからも少しずつ努力することを忘れずに将来の夢に向かっていこうと考えている。

三菱電機株式会社 名古屋製作所（就職） Kさん

私は、入学時は自分がどのような進路を進みたいのか、まったく決めていませんでした。

そこで私は進路の選択肢を増やすために3年間部活動と勉強を高いレベルで維持することに決めました。その結果私は、部活動で夏季大会3位を取ることができ、また勉強面では、学年1位を何度か取ることができました。

高校2年生の時に進路で悩んでいると顧問の先生から今の就職先を教えてくださいました。私はその会社の名前は知っていたのですが、具体的にどのような仕事をしているのかわかりませんでした。そこで私は、企業研究や事前訪問などを調べることにしました。事前訪問で、働いている方々の雰囲気も良く、仕事内容も含めとても働き甲斐のある会社だと思い、受験を決めました。そして面接練習などを重ね、希望した進路を実現することができました。

私が進路実現をすることができた要因は2つあります。1つ目は部活動と勉強を3年間真面目に続け、継続力と忍耐力を身につけたことです。高校3年間の部活動は精神的にも

肉体的にもとてもつらい3年間でしたが、仲間と支えあいながら乗り越えることができました。その結果、継続力と忍耐力がつけました。2つ目は面接練習を何度もしたことです。担任の先生や顧問の先生など様々な先生に協力していただきました。初めのころは早口になってしまい上手く話せませんでした。回数を重ねていくうちに落ち着いて話せるようになりました。この2つのことから私は進路実現をすることができました。

皆さんがどのような3年間を過ごすのか分かりませんが、自分にあった継続できるものを見つけ、3年間続けることで自分の希望した進路を実現することができると思います。応援しています！

イオンリテール株式会社 東海カンパニー名古屋事務所（就職） Sさん

私は、姉と兄の影響で就職を希望していましたが、職種についての明確な希望はまだありませんでした。そのような中、授業でキッチンカーを呼ぶことになりました。ビジネス系列の課題研究での試みです。お客様に喜んでもらえるようなキッチンカーを選んだり、お店の人との打ち合わせをしたり、チラシ作りや予約の受付などをしました。準備の時は思うように進まず大変なことも多かったです。当日キッチンカーで販売をしたときに、買ってくださったお客様が喜んでいてのを見て、とてもやりがいを感じました。そしてこの経験から接客業の道を考え始めました。

具体的な就職先を決めるときは、求人票で、職種や福利厚生、年間休日数、離職率などを比較して、一番惹かれたイオンリテールを選びました。夏休みは就職試験のための勉強や面接練習がとても大変でした。筆記試験が聞いたことのない「イメージ」というものだったので、ネットで調べたり書店で調べて参考書を買ったり、何度も練習しました。面接練習では、まず企業について調べ、どのような人物を求めているかを考えて、面接で聞かれそうなことをノートにまとめました。どうしたら簡潔に自分の良さを伝えることが出来るかとても悩みましたが、先生に相談をして、たくさんアドバイスをもらい練習を重ねました。その結果、本番では、思っていることを伝えることができ、後悔のない面接をすることができました。

就職活動は、何もかもが初めての経験で、求人票の見方もわからないし、面接のやり方も知らないところから始まります。とにかくわからない事は、先生方や、家族に相談することがとても大切だと思いました。私の場合は周りの人が協力してくれたから、良い就職先が選べたので、本当に感謝しています。だから、一人だけで頑張るのではなく、困ったら周りの人を頼ってみてください。必ず前に進むと思います。無事に進路が決まることを願っています。

富士特殊紙業（就職） Yさん

私は高校入学時には進学を希望していたが、高校二年生に上がって産業社会と人間という授業で進学と就職についてそれぞれ調べ、インターンシップに行ったことで社会に出て働くということに興味が出てきました。

就職すると決めてからは昨年の求人票を見て、どこの企業が自分に合っているのかを早めにはじめ、準備をして計画的に面接練習や入社試験の勉強を進めていきました。先生方も親身になって相談に乗ってくださり、私も分からない点はすぐに聞けたし私では気づかなかったアドバイスもしていただきました。

夏休みを使って行った面接練習は中学生以来の面接になったため覚え直すことも多く、初めは文章を考えるのに精一杯になっていましたが、練習を重ねていくうちに言葉も覚え前を向いて笑顔で言うことができるだけの余力ができてきました。

面接を成功させるポイントは文章をそのまま覚えることをやめることです。難しいことかもしれませんが、面接の本番では予想していない質問がくることもあります。言葉の引き出しを作り、臨機応変に対応していくことが大切です。笑顔を絶やさないことと大きい声で話すことを忘れずに取り組んでください。回数をこなすと自信がつくし、先生によって面接の進め方や質問も異なるため、なるべく違う先生に面接練習をお願いすることをお勧めします。一生懸命練習していても本番の面接で失敗してしまうことはありますが、本気で面接練習に取り組んだことは必ずあなたのためになります。うまくいかずに落ち込むこともあるかもしれませんが、諦めずに最後まで頑張ってください。

最後に、私は二年間福祉理解系列に所属していましたが、介護の道ではなく製造の道に行くことを決めました。しかし福祉で学んだことは無駄にはなりません。奉仕精神や自分と年の離れた方とどう接するのかを学びました。それらは福祉の道でなくとも生かされることであり、高校生活での大切な学びになりました。自分のすべき当たり前のことやチャレンジする機会を逃さずに、高校生活でしか学ぶことのできないことを存分に吸収して行ってください。

皆さんの進路実現が成功することを願っています。